

3	防水改修工事	屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 <table><tr><th rowspan="2">改修工法</th><th rowspan="2">新設種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">断熱材</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・M4C</td><td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M3D ・POD</td><td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td><td>・D1-1 ・D1-2</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td>※3.3.2(9)種類 ・厚さ ・</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による ・ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 （個） 屋根防水 防水層の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1 ・E-2</td><td></td></tr></table> 保護層 ・設ける（※図示による ・ ・） ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位 ・ 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 屋上排水溝 ※図示による ・ 5. 改質アスファルトシート防水 屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 <table><tr><th rowspan="2">改修工法</th><th rowspan="2">新設種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">断熱材</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M3AS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POAS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td></tr><tr><td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td><td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td>3.4.2(3)の種類 ・厚さ ・</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td></tr></table> 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 （個）	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・			・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	※3.3.2(9)種類 ・厚さ ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	改修工法	種別	施工箇所	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・			・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.4.2(3)の種類 ・厚さ ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	6. 合成高分子系ルーフィングシート防水	絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない 新設防水層の種類 <table><tr><th rowspan="2">改修工法</th><th rowspan="2">新設種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">断熱材</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・S-F1</td><td></td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POS ・S4S</td><td>・S-F2 ・S-M1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S-M2 ・S-F1</td><td></td><td>・プレキャストコンクリート下地 ・</td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr><tr><td>・S-F2</td><td></td><td>・プレキャストコンクリート下地 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S-M1 ・S-M2</td><td></td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr><tr><td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2</td><td></td><td>・プレキャストコンクリート下地 ・</td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td>3.5.2(3)(i)(b)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MAS1</td><td></td><td></td><td>・製造所の仕様 ・</td><td>※製造所の仕様 ・</td><td>3.5.2(3)(i)(a)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50</td><td></td></tr></table> S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 <table><tr><th>種別</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr><tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・</td></tr></table> 平場の保護モルタル床塗りににおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 ・ 厚さ ・ mm以上 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・（ ）個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う（・図示による ・） プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合） ・行う（・図示による ・） ・行わない 新設防水層の種類 <table><tr><th rowspan="2">改修工法</th><th rowspan="2">新設種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様 ・</td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・L4X</td><td>・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様 ・</td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr></table> ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 ・ 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 （個）	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・S-F1			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POS ・S4S	・S-F2 ・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・			・S-M2 ・S-F1		・プレキャストコンクリート下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無	・S-F2		・プレキャストコンクリート下地 ・					・S-M1 ・S-M2			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2		・プレキャストコンクリート下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(b)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MAS1			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(a)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50		種別	種別	施工箇所	保護層	・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無	8. シーリング	新設防水層の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr><tr><td>・P1Y ・</td><td>※Y-2 ・</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・P2Y ・</td><td>※Y-2 ・</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>・設ける ・設けない</td></tr></table> シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない施工箇所 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による ・ 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 といその他の材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン ・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類 ・） とい受金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4.5以上（とい径100を超えるもの） ・ 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による ・ 足金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品 ・ 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による ・ 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の材種の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による ・ 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による ・ ルーフトレンの種類及び呼び <table><tr><th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ろく屋根用たて形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td><td></td></tr><tr><td>・ろく屋根用横形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td><td></td></tr><tr><td>・差し込み式</td><td>・50 ・75 ・100</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td><td></td></tr><tr><td>・差し込み式</td><td>・50 ・75 ・100</td><td></td></tr></table> たてどい受金物の取付け ※図示による ルーフトレンの取付け ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する ・ 種類 <table><tr><td>・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm）</td><td>3.9.2、3</td></tr></table> 表面処理 種別（ ）種 色合等 ・標準色（ ） ・特注色（ ） 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示による ・） ・行わない 下地補修の工法 ・ ※図示による 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による ・	改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	・P1Y ・	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない	・P2Y ・	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類（記号）					種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100		・差し込み式	・50 ・75 ・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100		・差し込み式	・50 ・75 ・100		・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm）	3.9.2、3	9. とい	3.8.2、3	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。
		改修工法				新設種別	施工箇所			仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																								
種類	使用量																																																																																																																																																																																																																				
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・																																																																																																																																																																																																																	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	※3.3.2(9)種類 ・厚さ ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
改修工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2																																																																																																																																																																																																																				
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																															
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																	
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・																																																																																																																																																																																																																	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.4.2(3)の種類 ・厚さ ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																															
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																	
・S-F1			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・POS ・S4S	・S-F2 ・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・																																																																																																																																																																																																																	
・S-M2 ・S-F1		・プレキャストコンクリート下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・S-F2		・プレキャストコンクリート下地 ・																																																																																																																																																																																																																			
・S-M1 ・S-M2			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2		・プレキャストコンクリート下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(b)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																															
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MAS1			・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(a)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50																																																																																																																																																																																																																
種別	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																		
・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・																																																																																																																																																																																																																		
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考																																																																																																																																																																																																																
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																	
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																
改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																																																																	
・P1Y ・	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																	
・P2Y ・	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																																																																				
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																				
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																				
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																				
・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																				
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																				
・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																				
・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm）	3.9.2、3																																																																																																																																																																																																																				
4-1	外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	4-1	1. ひび割れ部改修工法	4.1.4>4.3.5、6、7、8 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(mL/m)</th><th>延べ長さ(m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満 ・</td><td>※200～300 ・</td><td>・130 ・</td><td>図示による</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 ・</td><td>・50～100 ・</td><td>・40 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>0.3以上～0.5未満 ・</td><td>・100～200 ・</td><td>・70 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>0.5以上～1.0未満 ・</td><td>・150～250 ・</td><td>・130 ・</td><td></td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 抜き取り部の補修方法 ※図示による ・ ・Uカットシール材充填工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>延べ長さ(m)</th></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満</td><td>図示による</td></tr><tr><td>・シーリング材</td><td></td><td></td></tr></table> ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>延べ長さ(m)</th></tr><tr><td>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</td><td>0.2未満</td><td>図示による</td></tr></table> ・充填工法 <table><tr><th>材料</th><th>平均深さ(mm)</th><th>平均広さ(m)</th><th>延べ箇所数</th></tr><tr><td>・ポリマーセメントモルタル</td><td>5～10未満 10～15未満 15～20未満 20～25未満 25～30未満 30～35未満 35～40未満</td><td></td><td>図示による</td></tr><tr><td>・エポキシ樹脂モルタル</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満 ・	※200～300 ・	・130 ・	図示による	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 ・	・50～100 ・	・40 ・			0.3以上～0.5未満 ・	・100～200 ・	・70 ・			0.5以上～1.0未満 ・	・150～250 ・	・130 ・		工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満	図示による	・シーリング材			工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による	材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満 20～25未満 25～30未満 30～35未満 35～40未満		図示による	・エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																
				工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満 ・	※200～300 ・	・130 ・	図示による																																																																																																																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 ・	・50～100 ・	・40 ・																																																																																																																																																																																																																		
	0.3以上～0.5未満 ・	・100～200 ・	・70 ・																																																																																																																																																																																																																		
	0.5以上～1.0未満 ・	・150～250 ・	・130 ・																																																																																																																																																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																																																																																			
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満	図示による																																																																																																																																																																																																																			
・シーリング材																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																																																																																			
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																																																																																																																																																			
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																																																																																																																																																																																																		
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満 20～25未満 25～30未満 30～35未満 35～40未満		図示による																																																																																																																																																																																																																		
・エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																					
4-2	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	4-2	1. ひび割れ部改修工法	4.1.4>4.3.5、6、7、8 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(mL/m)</th><th>延べ長さ(m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満 ・</td><td>※200～300 ・</td><td>・130 ・</td><td>図示による</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 ・</td><td>・50～100 ・</td><td>・40 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>0.3以上～0.5未満 ・</td><td>・100～200 ・</td><td>・70 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>0.5以上～1.0未満 ・</td><td>・150～250 ・</td><td>・130 ・</td><td></td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 抜き取り部の補修方法 ※図示による ・ ・Uカットシール材充填工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>延べ長さ(m)</th></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満</td><td>図示による</td></tr><tr><td>・シーリング材</td><td></td><td></td></tr></table> ・シーリング材	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満 ・	※200～300 ・	・130 ・	図示による	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 ・	・50～100 ・	・40 ・			0.3以上～0.5未満 ・	・100～200 ・	・70 ・			0.5以上～1.0未満 ・	・150～250 ・	・130 ・		工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満	図示による	・シーリング材																																																																																																																																																																																	
				工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満 ・	※200～300 ・	・130 ・	図示による																																																																																																																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 ・	・50～100 ・	・40 ・																																																																																																																																																																																																																		
	0.3以上～0.5未満 ・	・100～200 ・	・70 ・																																																																																																																																																																																																																		
	0.5以上～1.0未満 ・	・150～250 ・	・130 ・																																																																																																																																																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																																																																																			
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満	図示による																																																																																																																																																																																																																			
・シーリング材																																																																																																																																																																																																																					
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326（ FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称 図面名称	全葉 Scale	図面No																																																																																																																																																																																																														

特記仕様書(2)

4-2

外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

2. 欠損部改修工法

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

・シーリング材のうににポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
・シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による

・充填工法

<4.1.4><4.3.9、10>			
材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満 20～25未満 25～30未満		図示による
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満 35～40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数
・現場調査材料 ・既調合材料			図示による

・現場調査材料
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
・既調合材料 ()

既製目地材
・使用する (形状 ・図示による)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

3. 浮き部改修工法

4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

1. タイルの形状寸法等

<4.4.5、8>									
施工箇所	形状/寸法 (mm)	I 類	II 類	III 類	Ⅳ 類	Ⅴ 類	Ⅵ 類	Ⅶ 類	Ⅷ 類
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う (施工箇所：) ・行わない
試験張り
・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない

2. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/㎡)	延べ長さ (m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	・130	図示による
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70	
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130	

注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜き取り部の補修方法
※図示による

3. 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系
施工数量： 平均広さ () ㎡ 延べ箇所数 () 箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル (・現場調査材料 ・既調合モルタル)
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
施工数量： 平均広さ () ㎡ 延べ箇所数 () 箇所
・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り ・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り

シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

4. 浮き部改修工法

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

1. 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

<4.5.4>		
工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離工法の処理範囲以外の 既存仕上面全面 ・図示による	

2. 下地調整塗材

・ポリマーセメントモルタル

3. 仕上塗材仕上げ

<4.1.5><4.5.2><表4.5.1>			
種類 (呼び名)	仕上の形状	工法	防火材料
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・可とう形外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け	・
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・

4. マスチック塗材塗り

5. 外壁用塗膜防水材塗り

1. 改修工法

<5.1.3>			
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	・	・	・建具表による ・
・鋼製建具	・外部 ・内部	・	・建具表による ・ ・建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
・木製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

2. 防火戸

・指定する 適用箇所 (・建具表による)
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる 適用箇所 (・建具表による)
・連動させない

3. 見本の製作等

建具見本の製作 ・行う (建具符号：)
※行わない
建具見本製作の目的等： ()
特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号：)
※行わない

4. 防犯建物部品

・適用する (・建具表による)
※適用しない

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電話 022-211-326 (班)
FAX 022-211-3190
宮城県土木部管轄課

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工事名称

図面名称

全業

図面 No

特記仕様書 (3)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

8-8

土工事及び地業工事

1. 埋戻し及び盛土

材料及び工法
・材料() 工法()
※改修標準仕様書表8. 28. 1Iによる
・A種 適用場所()
・B種 適用場所()
・C種 適用場所()
土質() 受渡場所()
・D種 適用場所()
(品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

9

環境配慮改修工事

2. 杭地業

支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む)
・図示による()
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による()
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による()
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による()
・杭の溶接継手
技能資格者の技量 ・図示による()
溶接部の確認 ・図示による()
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法(切断ともなう補強方法含む)
・図示による()
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内 ・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による()

3. 砂利地業

材料
※再生クラッシャーラン ・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ
厚 さ 適用 箇所
※60mm ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・
・

4. 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ
厚 さ 適用 箇所
※50mm ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下
・
・
コンクリートの種類
・ ※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/mm²
スランプ
※15cm又は18cm

1. 石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲(・)
貸与資料()
・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数(各施工箇所ごと)
・測定 1 処理作業室内 ・計 点
・測定 2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・計 点
・測定 3 処理作業室内 ・計 点
・測定 4 セキュリティーゾーン入口 ・計 点
・測定 5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) 出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計 点
・測定 6 処理作業室内
・施工区画周辺
・敷地境界 ・計 点
・測定 7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・計 点
・測定 8 処理作業後(シート撤去後) 処理作業室内 ・計 点
・測定 9 調査対象室外部の付近 ・計 点
測定方法
・自動測定器による測定
測定名称 測定方法
・測定 4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定 5
・JIS K 3850-1Iに基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・ 25 5 30
・測定 5
・測定 47 10 120
・測定 47 10 240
・測定
・測定

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※改修標準仕様書9. 1. 3 (2) (7)による
・
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
・破碎して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲
・図示による
隔離養生(負圧不要)方法
・図示による
足場
・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・
・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲
・図示による
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

2. 断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による。
・図示による

3. 外断熱改修工事

断熱材
断熱材の種類
・断熱材の厚さ(mm)
・
施工箇所
・図示による
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
外装材
種類 防火性能 備考
鋼材
改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による
笠木
改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去
・行う ・行わない
下地面の清掃
・行う ・行わない
欠損部の改修工法
・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による
・
不陸等の下地調整
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による
通気層の有無
・有(mm) ・無
外装材の外壁への取付け
・図示による
笠木の施工
・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による
・

4. 断熱・防露改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 952Iに基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
施工場所
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1 ・A種1H
吹付け厚さ(mm)
・25 ・30
施工箇所
・図示による
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 952Iに基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
材質
厚さ (mm)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張付け工法

5. 屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による
かん水装置
・設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去
・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間
※引渡しの日から1年
・

6. 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用
※図示による
路床
路床の材料
種類 材料 厚さ(mm)
・盛土 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
・建設汚泥から再生した処理土
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン
・クラッシャーラン
・切込み砂利
・砂
・フィルター層 ※砂
・
・(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う ※行わない
路床安定処理
・適用する ・適用しない
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類
※普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号 ・1号)
・消石灰(・特号 ・1号)
添加量
・ kg/m3 (目標CBR ・3以上 ・)
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験
・
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/m²以上
厚さ(mm)
・0.5～1.0
引張強さ
・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数
・1.5×10⁻¹ cm/sec以上
試験
路床土の支持力比(CBR)試験
・行う ※行わない
路床締固め度の試験
※行う ・行わない
現場CBR試験
・行う ・行わない
路盤
路盤の厚さ
・図示による
路盤材料(改修標準仕様書表9. 7. 3Iによる種別)
・クラッシャーラン
・粒度調整砕石
※再生クラッシャーラン
・再生粒度調整砕石
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
舗装の構成
※図示による
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う ※行わない
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
・

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話 022-211-326 (班)

FAX 022-211-3190

宮城県土木部営繕課

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工 事 名 称

図 面 名 称

特 記 仕 様 書 (9)

全 業

図面 No

10

ユニット及びその他の工事

1.フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床材 ・タイルベット ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
 パネルの長さの寸法精度
 パネルの平面形状(角度)の寸法精度
 フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
帯電防止性能
・評価値(U)≥0.6以上
・評価値(U)≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R)≥1×10⁶Ω

2.可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スラット ハネ	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式		・メラミン樹脂焼付又は 7777樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り(※図示による)
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆

3.移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質 材質 仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・フック式 ・ハンドル式		・銅板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

4.トイレブース

(20.2.5)

表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

5.手すり

(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14.2.2による種別()種)
・アルミニウム 表面処理
(※標準仕様書表14.2.1による種別()種)
色合い・標準色()・特注色()

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

6.階段滑り止め

(20.2.7)

材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法(幅)
・35mm程度
・40mm程度
・50mm程度

取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

7.黒板及びホワイトボード

(20.2.9)

・黒板
区分
※焼き付け
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑
・ホワイトボード

8.鏡

(20.2.10)

取付け箇所()
寸法 (mm)
・図示による
厚さ (mm)
※5

9.表示

(20.2.11)

衝突防止表示
・設置する(設置場所:※図示による)
形状・寸法(・30φ)
材質(※ステンレス製)
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

取付箇所

10.タラップ

(20.2.12)

材質及び仕上げ
・SUS304(スリップ止め加工 ※あり なし)
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14.2.2による種別(※C種 種))

11.煙突ライニング

(20.2.13)

適用安全使用温度
・
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

12.ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材種	幅・高さ
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7777 合金製	※25	※鋼製	・図示による
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	7777スラット ・クロススラット	・80 ・100	※7777 合金製	・図示による

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13.ロールスクリーン

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

14.カーテン

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類別、 品質、特殊加工等	取付け 箇所
・シングル・片引き ・ダブル・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示による

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

15.カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上げ
※アルマイト
形状
※角形

材種
・集成材(仕上げ:)
※アルミニウム製 押出し型材(市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BG-1種
・BG-2種
色合い
・標準色()
・特注色()
・鋼製(仕上げ:)

16.ブラインドボックス及びカーテンボックス

17.天井点検口

18.床点検口

19.くつふきマット

20.流し台ユニット

21.旗竿

22.旗竿受金物

23.車止めさく

24.フェンス

25.間知石及びコンクリート間知ブロック積み

26.鋼製書架及び物品棚

27.屋内掲示板

28.洗面カウンター

29.防煙垂れ壁

30.屋外掲示板

31.収納家具

11.総揮発性有機化合物(TVOC)測定

4.測定する室

5.測定結果等報告書の提出

6.その他

枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

材種
・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)
・人工大理石
奥行き(mm)
・約450
・約600
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

照明器具
・有り
・無し
施錠
・有り
・無し
製造所
・

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法
※図示による

1.一般事項

2.測定対象化学物質

3.測定方法

4.測定する室

5.測定結果等報告書の提出

6.その他

試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。

測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。

1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。
2) トルエン換算で 2.0μg/m³ 未満のピークは測定の対象としない。
3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値		
化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm
③キシレン	200 μg/m ³	0.05 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	0.88 ppm
⑤ステレン	220 μg/m ³	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m ³	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm
⑨ノナール	(暫定)41 μg/m ³	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	0.0015 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	0.0063 ppm
⑫クロロピリホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm
⑭フェノール	33 μg/m ³	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)

1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
・ 室名:

2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室
・ 室名:
・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)
2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数)
3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事的物の引渡しを受けない。
TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 (班) FAX 022-211-3190	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面No
					図面名称		
					特記仕様書(10)		